

# PRESS RELEASE

国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所

TEL: 03-5467-4751 FAX: 03-5467-4753



Empowered lives.  
Resilient nations.

## UNDP 人間開発報告書 2016「世界で最も恵まれない人々が依然として世界の開発の優先課題から取り残されている」

おびただしい数の人が人間開発の進捗の恩恵を受けていない。差別や政治参加への不平等など、人間開発を妨げる根深い障壁に対処しなければ、格差がさらに広がることになる。

### 【2017年3月21日 ストックホルム】

この四半世紀の間に人間開発は目覚ましい進展を遂げたが、今なお多くの人を取り残され、数字では捉えにくい制度化された障壁に進展を阻まれたままである。すべての人に持続可能な人間開発を保証するためには、排除されている人々に焦点を合わせ、そのような障壁をなくすための行動が早急に求められる。

本日、国連開発計画（UNDP）の人間開発報告書 2016「すべての人のための人間開発」がスウェーデンで国際公式発表された。

本報告書は、人間開発の平均水準は 1990～2015 年において、すべての地域で大きく向上したが、今なお世界の 3 人に 1 人が人間開発指数（HDI）の低水準の人間開発の中で生活していることを明らかにしている。

本日、ストックホルムにおいて、ヘレン・クラーク UNDP 総裁と人間開発報告書主筆のセリム・ジャハン UNDP 人間開発報告書室長と共に、本報告書の国際公式発表を行った、スウェーデンのステファン・ロヴェーン首相は「誰をも取り残さないことを、グローバルなコミュニティの一員としての私たちの行動指針にする必要がある。人間開発と持続可能な開発目標（SDGs）への進捗を妨げる障壁を克服する上で、包摂性が政策の選択を導くものでなければならない」と述べた。

クラーク UNDP 総裁は「世界は極度の貧困の削減、教育・保健・衛生に対するアクセスの改善、女性と少女の可能性の拡大に大きな進歩を遂げた」と述べ、「しかし、このような成果は、より困難になるかもしれない次の課題、つまりグローバルな進展の恩恵がすべての人に及ぶようにするという課題の前段にすぎない」と結んだ。

これは先進国の課題でもある。先進国も貧困と排除の問題を抱え、子ども全体の 3 分の 1 強を含む 3 億人以上が相対的に貧困の中で生活している。

### 取り残されたまま追いつくことができない：女性、先住民、少数民族などに対する制度化された差別

本報告書は、人間開発の不足が大きいだけでなく、それによる不利益が一部の集団に偏っていることを指摘している。

ジャハン UNDP 人間開発報告室長・主筆は「私たちは、往々にして人々の生活の大きな違いを覆い隠す国の平均水準に関心を向けすぎている。前進するために、私たちは成果だけでなく誰が排除されているのか、それはなぜなのかをもっと詳しく調べる必要がある」と呼びかけた。

本報告書は、ほぼすべての国において一部の集団が、頻繁に重複し、相乗的に影響を及ぼすさまざまな不利益に直面していることを示している。そのような集団は、そのせいで脆弱性が増し、世代に渡って進展の格差が広がり、世界の進展に追いつくことがさらに難しくなっている。

純粋に経済的な障壁だけでなく、政治的・社会的・文化的な障壁によって制度的に排除されている人々には、女性と少女、農村部の住民、先住民、少数民族、障がい者、移民・難民、LGBTI のコミュニティなどが含まれる。

そのなかで最大の集団である女性の場合、世界の男女格差は徐々に縮まってはいるものの、女性と少女に対する長く続く排除とエンパワーメントの不足が喫緊の問題としていまだに残っていると、本報告書は指摘する。

女性は男性よりも貧しく、低賃金で、生活の大半の側面において機会が少なくなりやすい。世界の 100 か国で女性は性別ゆえに一部の職業から排除され、18 か国では夫の許可がなければ仕事に就けない。女性器切除や強制結婚のような危険な慣習も続いている。

農村部で生活する人々も複合的な障壁に直面している。たとえば、農村部の貧しい世帯の就学児童は読み書きと算数の学力が低くなりやすい。

加えて、移民および難民は仕事や教育、政治参加において障壁に直面することが多い。また、世界全体で 2 億 5000 万人以上が民族を理由とする差別に直面していると、本報告書は指摘する。

## 人間開発に対する根深い障壁に立ち向かうべき時

クラーク UNDP 総裁は「これほど多くの人の前進を阻んでいる深くて長く続く差別的な社会規範や法律をなくし、政治参加に対する不平等なアクセスに対処することによって、貧困を根絶やしにし、すべての人のための平和的で公正な持続可能な開発を実現することができる」と述べた。

排除されている集団は、自分たちの生活を定める制度や政策に対して影響を及ぼす機会が限られていることが多い。排除と欠乏の悪循環を断つうえで、これを変えることが重要となる。

たとえば、先住民は世界人口の 5% でありながら貧困人口の 15% を占めている。また、世界の 70 か国以上で男性同士の性行為が違法とされており、LGBTI のコミュニティにいる人々は自分たちの権利を積極的に主張することができない。

本報告書はこのような観点から、社会の中で最も取り残されている人々を力づけることを今よりもはるかに重視するよう求め、そのような人々に意思決定プロセスにおける強い発言力を与えることの重要性を指摘している。

本報告書はまた、参加や自律性などの側面における前進の評価への移行など、行動のためのデータを得る分析を高めなければならないと求めている。誰が取り残されているのかを知るうえで、場所や性別、社会経済的地位、民族などの特性で細分類された基本データが不可欠である。

さらに加えて本報告書は、開発の質よりも量に焦点を合わせると、主要な開発指標が前進を過大に捉え

てしまう恐れがあることにも警鐘を鳴らしている。たとえば、女子の初等教育就学率は上昇したが、データのある 53 の途上国の半数において、4～6 年の初等教育を修了している成人女性の過半数が非識字者である。

### 「すべての人のための人間開発」は達成可能

ジャハン UNDP 人間開発報告室長・主筆は「今は進展に格差があっても、普遍的な人間開発は達成可能だ。私たちはこの数十年の間に、かつては不可能と思われていた人間開発の成果を目の当たりにした」と言及する。

1990 年以降、10 億人が極度の貧困から脱出し、女性のエンパワーメントが主流の課題となった。1990 年代の時点で、女性を家庭内暴力から法的に守っている国はごく少なかったが、現在では 127 か国に達している。

本報告書は、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」と人間開発のアプローチが相互強化の関係にあることを指摘し、これまでの成果をさらに積み重ねていく上での同 2030 アジェンダの重要性を強調している。

本報告書は、最も取り残されている人々に人間開発の進展が行き渡るようにするための政策修正について提言するとともに、そのような人々が等しく発言力をもてるようにするためのグローバル市場と国際的なシステムの改革も強く求めている。

\*\*\*\*\*  
メディア連絡先

国連開発計画 (UNDP) 本部、ニューヨーク  
Anna Ortubia: [anna.ortubia@undp.org](mailto:anna.ortubia@undp.org) /+1 212 906 5964  
Ann-Marie Wilcock: [ann-marie.wilcock@undp.org](mailto:ann-marie.wilcock@undp.org) / +1 212 906 6586

UNDP 北欧事務所  
Trygve Olfarnes: [trygve.olfarnes@undp.org](mailto:trygve.olfarnes@undp.org) / +47 94156028  
Caroline Åberg: [caroline.aberg@undp.org](mailto:caroline.aberg@undp.org) / +46 70 547 93 42

UNDP 駐日代表事務所  
広報ユニット (電話: 03-5467-4751)

### 人間開発報告書 (HDR) について

人間開発報告書は国連開発計画 (UNDP) が独自に編集・刊行している。人間開発報告書 2016 の本体、および各種指数や関連資料は <http://hdr.undp.org> から無料でダウンロードできる。

人間開発報告書 2016 (英文版) <http://report.hdr.undp.org/>

国連の全ての公用語でのプレスパッケージは、<http://hdr.undp.org/en/2016-report/press>

UNDP は社会のあらゆるレベルの人々と手を携え、危機に耐え得る国づくりを支援するとともに、強靱な国の基盤となる持続可能な成長を推進している。また UNDP は、約 170 か国で活動し、人々の生活を改善し、強靱な国づくりのためにグローバルな視点と地域に根差した洞察を提供している。